| 項目 | | 説明 |
|---|---|---|
| 試料・情報の利用目的及び利用方法 | 研究課題名 | 肉腫における鎌状血管形成に関する研究 |
| | 研究対象者 | 2000 年 1 月から 2025 年 12 月の間に神奈川県立がんセンターで骨軟部腫瘍と診断された方 |
| | 研究目的 | 肉腫は発生頻度の低い希少ながんの一つで、当院は肉腫の患者さんの治療を数多く扱っている施設です。稀な腫瘍であることから、その顕微鏡による病理組織診断と患者さんの治療方針の決定や予後などについて解明しなくてはならないことが数多くあります。今までの私達の研究で、肉腫内にみられる鎌状形態を呈している拡張した血管の多寡が、肉腫の肺や脳などへの血行性の遠隔転移と、患者さんの生存期間に関連していることが示唆されました。本研究では、この特異な形態を呈する血管について、タンパク質や mRNA を用いて詳細な遺伝子発現解析を行って、肉腫の血管形成に関わり血行性遠隔転移を起こす原因となる因子を突き止めて、患者さんの予後をより正確に予測し、また、有効な新規治療法開発のための標的となるような分子の同定を試みます。 |
| | 研究方法 | 骨軟部腫瘍の診断に用いた組織の残りから、腫瘍細胞が発現しているタンパク質や遺伝子発現を解析し、遠隔転移に関連している原因因子を同定する。また、包括同意書（「遺伝子解析を含む生命科学・医学研究への協力のお願い」についての同意書）により書面で同意を頂いている方に限り、個人を直接識別できる情報を除去するなど、個人情報の保護に十分配慮した上で、必要に応じて公共データベースへの登録を行い、研究の透明性の確保と成果の社会への還元を目的に、各データベースへのアクセス管理方針に従って解析データを公開させていただきます。 |
| | 個人情報保護 | 対象となる患者さんの診療情報には個人情報が含まれますが、氏名や住所などの情報を削り、容易に個人を特定できないように研究用の番号（識別コード）で管理します。個人と識別コードを照合できるようにする対応表を作成しますが、パスワードロックや鍵をかけて厳重に保管し、院外へ提供することはありません。 |
| | 研究期間 | 西暦 2022 年 6 月 6 日～西暦 2028 年 3 月 31 日 |
| | 利用又は提供を開始する時期 | [X]総長が研究実施を許可した日<br>[__] 西暦　　年　　月　　日頃（研究の進捗によって前後いたします） |
| 利用する試料・情報の項目（チェック[X]が入った項目を利用します） | [X]試料: | [__]血漿、[__]血清、[__]全血、[__]末梢血から抽出した DNA、<br>[X]病理検体(具体的に記載: ホルマリン固定パラフィン包埋ブロック)、<br>[__]尿、[__]糞便、[__]唾液、[__]胸水、[__]腹水、[__]脳脊髄液、<br>[__]毛髪、[__]その他(具体的に記載:　　) |
| | [X]情報: | [X]診断名(臨床病期や分類、病理診断を含む)、[X]年齢、[__] 生年月日、[X]性別、[X]既往歴、<br>[__]併存疾患、[__]外来日・入院日・退院日、[X]臨床検査値、[X]放射線診断や超音波検査、<br>内視鏡検査等の画像データ、[X]臨床所見・経過（予後追跡データを含む）、[X] ゲノムデータ、<br>[__]看護記録、[__]その他(具体的に記載:　　) |
| 試料・情報を利用する者の範囲 | 当センター研究責任者 | 所属・氏名 病理診断科・鷲見公太 |
| | 共同研究機関および責任者 | なし |
| | その他の機関 | なし |
| 試料・情報の利用停止および情報公開に関する窓口 | | 施設名：神奈川県立がんセンター 所属：病理診断科<br>氏名：鷲見公太 連絡先：045-520-2222<br>利用停止のお申し出は 2026 年 3 月 31 日までにお願いいたします<br>ただし、お申し出いただいた時にすでにデータが固定され、研究成果が論文などで公表されていた場合には、患者さんのデータを廃棄できない場合があります |